

各位

2026 年 10 月 30 日
セレンディップ・ホールディングス株式会社
(コード：7318 東証グロース)
エクセル株式会社

セレンディップ・チャレンジ 1000 に向けて、既存顧客へのクロスセルを推進
～グループの強みを結集した「顧客向け合同展示会」を開催～

セレンディップ・ホールディングス株式会社（本社：名古屋市中区、代表取締役社長兼 CEO：竹内 在 以下、当社）のグループ会社であるエクセル株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：高橋 直輝 以下、エクセル）は、2026 年 10 月 2 日、エクセルのお取引先であるいすゞ自動車株式会社（以下、いすゞ自動車）の社員の皆様を対象とした「グループ企業合同展示会」を開催しました。

当社グループでは、M&A を通じて拡大した顧客基盤と技術・サービスを相互に活用し、既存顧客へのクロスセルや新たな商談機会の創出を推進しています。

本展示会は、当社が中期経営計画で掲げる「グループ内統合を通じたユニットサプライヤーへの進化」に向けた具体的な取り組みです。エクセルが有する顧客接点と、当社グループ各社が有する技術・製品・サービスを結び付けることで、既存顧客へのクロスセルや新たな商談機会の創出を推進しています。

■各社の技術を結集し、系列や技術分野を越えたクロスセルを推進

本展示会には、セレンディップ・グループ 6 社※が参加しました。「技術を結集し、持続可能なクルマづくりへ」をテーマに、電動化、環境対応、生産効率化に関する各社の技術・製品・サービスを紹介しました。

当日は、いすゞ自動車の購買、設計、デザイン、商品企画、実験部など、多岐にわたる部門の皆様をお迎えし、モビリティの課題やニーズ、ならびにセレンディップ・グループ各社が提案するソリューションについて直接意見を交わしました。こうした意見交換を通じて、部品単体の提案からモビリティ全体を軸とした提案へと営業活動の領域を広げ、いすゞ自動車の潜在課題の発掘とセレンディップ・グループのソリューションとの新たな接点の創出を実現しました。

今後もこのような活動を継続し、顧客と当社グループの双方にとって、より価値のあるモノづくりを推進し、次世代モビリティ社会に貢献してまいります。

※参加企業：天竜精機、ユニクレア、三井屋工業、Apex、セレンディップ・ロボクロス、エクセル（順不同）



合同展示会の会場の様子



約 100 名の皆様が来場



参加したグループ各社のメンバー

■ ロールアップ・グループ内統合を通じたユニットサプライヤーへの進化

当社は、[2026 年 6 月 25 日に発表した中期経営計画](#)において、グループ内統合を通じて各社の顧客基盤や技術を相互に活用し、単品加工メーカーの集合体からユニットサプライヤーへの進化を目指す方針を掲げています。今回の合同展示会は、その方針に基づく取り組みの一つです。

今後も、既存系列を越えたクロスセルや、異なる技術を組み合わせたモジュール提案を推進し、顧客への提供価値ならびに付加価値と収益性の向上を図ってまいります。



P18 ページ



P19 ページ

■ 会社概要

セレンディップ・ホールディングス株式会社

本 社 愛知県名古屋市中区錦一丁目5番11号

設 立 2006年8月

代 表 者 代表取締役社長兼 CEO 竹内 在

U R L <https://www.serendip-c.com/>

事業内容 経営受託及び事業再生、投資事業、経営コンサルティング

エクセル株式会社

事業所 東京都中央区京橋2丁目10番2号 め利彦ビル7階

設 立 1970年4月

代表者 代表取締役社長 高橋 直輝

URL <https://www.3d-excell.com/jp/>

事業内容 自動車関連部品の開発、製造、及び販売

【本件に関するお問合せ先】

セレンディップ・ホールディングス株式会社

IR 広報担当：E-mail: pr@serendip-c.com